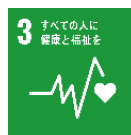


令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	27	学校名	仙台市立東仙台小学校	校長名	阿部 謙
------	----	-----	------------	-----	------

- 1 取組のタイトル、テーマ
環境を意識したエコ・スクール活動



- 2 取組の紹介

① ゴミの分別回収

各教室で、可燃ゴミとプラスチックゴミ、再利用できる古紙の3つに分別回収し、資源の再利用を心がけています。特に、可燃ゴミとプラスチックゴミの分別は各クラスで意識して取り組んでいます。

② 古紙回収

各教室に古紙回収ボックスを設置し、それを環境委員会が回収して大きさ毎に仕分けしてまとめます。それをゴミ倉庫の古紙回収コーナーに置きます。その際、児童の個人名が記載されているものはマジックで塗りつぶし個人情報の保護にも注意を払っています。



③ 委員会活動による「エコキャップ運動」と「牛乳パック回収」

ゴミとして焼却処分されるペットボトルキャップを回収することで、燃焼による二酸化炭素の発生を減らすことと、ポリオワクチンの代金や病気の研究への助成金にさせていただくことを目的に、環境委員会が全校児童に呼び掛けて取り組みました。第1回目は12月に行い48.8kg集まりました。

また、家庭から出る牛乳パックを資源化するべく回収ボックスを設置しています。環境委員会が毎月何枚回収したかを確認して告知しています。



- 3 取組の成果（児童生徒の変容）

- ゴミの分別・古紙の再利用などが子供たちの日常的な活動として、定着してきています。
- 児童のみならず、教職員もリサイクルを意識して活動しています。
- 各家庭の協力をいただく活動を行うことで、エコ・スクールの活動が少しずつ家庭や地域に浸透し始めています。
- この活動を通して、「3R」の浸透を図っていくことが課題であると感じています。環境省から出ているリーフレットに書かれているとおり、「Reduce」「Reuse」「Recycle」の言葉が子供たちが使って説明できるように、自分たちが行っている活動が「3R」の何に当たるのか話し言葉や書き言葉で常に確認しながら、活動を進めていくことが大切であると感じました。